



ふれあいネットワーク

いちのせき

社協 だより

第33号

[2014年11月28日発行]

平成24年4月から、一関市社会福祉協議会が主催し、東日本大震災で被災して、一関市に住まいを移し生活されている方々を対象にして開催している「ふるさとお茶っこ交流会」は4月で3年目を迎えました。たくさんの温かいご支援を受け、今年度も毎月1回開催しております。

10月8日は一関人権擁護委員協議会の支援を受け、磐井川河川公園にて「いものこ会」を行いました。

天気にも恵まれ、秋晴れの下、いものこ汁やおにぎりをみんなで作ったあとは、人権擁護委員協議会で呼んで下さった一関二高太鼓道場部の太鼓演奏も披露され、生徒の皆さんを交えての昼食となりました。

参加者からは、「久々の青空の下で気持ち良く過ごせた。」「素晴らしい太鼓演奏やおいしいお昼をみんなで楽しむことができて良かった。」などの感想をいただきました。

今後も季節行事を取り入れ、お茶を飲みながらおしゃべりをするなど、笑顔が増えるような交流会の開催を計画しております。



この広報は共同募金の助成を受けて発行しております。

支え合い 幸せ感じる 地域の暮らし

—「ゆいっこ広場in藤沢」—

社協ふくし祭「ゆいっこ広場in藤沢」は、「第四回藤沢町文化祭」、「ふじさわ商工物産まつり二〇一四」、「平成二十六年度消防フェスタin藤沢」、二〇一四年Aいわて平泉まつり（農業祭）と合同開催として、十一月一日（土）藤沢公民館特設会場で開催しました。

合同開催としたこの祭りを「平成二十六年度明日を築く藤沢町産業福祉文化祭」と名付け、例年同時期に各団体がそれぞれ行っていた祭りと一緒にを行うことで、互いの連携と相乗効果が生まれました。

展示コーナーにおいては十一月一日から三日間展示を行い、デイサービスゆうゆう、特別養護老人ホーム光栄荘、藤沢町デイサービスセンター、グループホームやまと、老健ふじさわ、老人クラブ連合会、ふじの実学園、第二ふじの実学園、ワークジョイふじの実、ワークジョイかわさきが日頃の活動で制作した作品を出展し、今後の活動の励みになるよう取り組みました。



当日は、一関歯科医師会の皆さんによる歯の健康相談やくじ引き、ボランティ

支部通信

一関支部

じどうかんまつり

十月十八日（土）に市内滝沢にある真滝児童館において「じどうかんまつり」を開催しました。まつりは今年で十回目を数え利用している児童はもちろん、未就学児童や地域の方々約二六〇名が来場し大いに盛り上りました。

また、ほかにもカボチャの重さ当てや館内ウォークラリー、自分で作って食べる手作り団子など、子どもも大人も楽しめるコーナーがたっぷりで貴やかな声もたくさんあふれており、来場された方々は皆さん笑顔があふれており楽しい時間を過ごせたようでした。

来年も開催しますので、ぜひ遊びにいらしてください。



福祉をテーマに体験学習

花泉支部

花泉支部では例年、町内の小学校へキヤップハンディ体験の指導や、体験用具の貸出しを行っています。「キヤップハンディ」とは「ハンディキヤップ」という言葉の前後を入れ替えた造語で、「立場を入れ替えて考えてほしい」という願いがこめられています。

今年もこれまで、永井小学校、金沢小学校への訪問指導と、涌津小学校、日形小学校への用具貸出しを行いました。

アイマスクをして目の見えない人の体験や手引き、車椅子体験、白内障疑似体験等、普段とは違う不自由さに子ども達も何かを感じたようです。

十一月十二日の日形小学校四年生の体験から、花泉支部へ感想が寄せられました。



大東支部

今日の出会いは明日への生きがい

ひとり暮らし高齢者のつどい

社会福祉協議会が主催、一関市老人クラブ連合会大東支部と大東ボランティア連絡協議会が共催する「ひとり暮らし高齢者のつどい（秋桜のつどい）」が十一月十三日、十四日の二日間、グリーンバ

鍋三つ分のすいとんは例年同様閉会前に完食となりました。

ステージでは、児童によるダンス披露やりんごの皮むき大会があり、観客席からあたたかい声援をいただいておりました。

たので一部をご紹介します。

「体験してみて、お年よりのつらいと思う気持ちも分かる気がしました。これからはやさしくしたいです。」「最初はどんな感じのかなと思いました。でもやってみて、目が不自由な人の気持ちがわかりました。」「十キロの重りをつけて立っていて、すごくつらかったので、いろんな場所で席をゆずりたいです。相手を思いやり、自分に何ができるのか、考える時間になつたようです。

来年も開催しますので、ぜひ遊びにいらしてください。

話し語りの時間の中で、地域のいいところや今の生活でいいところ、身近で困っていること、これからも自分たちができることなどを共通話題として情報交換が行われました。

参加者からは、「自由で気兼ねしないことがいいところ」「地域は、みんな顔見知りで互いに助け合えること」。困ることは、「除雪作業が重労働になつたこと」「外出の移動手段が公共交通機関だが利便性が悪いこと」などがあげられました。また、自分たちができる」とは「自分のことは自分で何でもやる」と多くの方が声をそろえて話していました。

自分自身で生活を楽しく送れるように考え、工夫をしていることや健康に意識して生活していることが伝わってきました。余興では、道中股旅舞踊「一文字美咲一座」の公演が行われ、参加者は、目前で見る舞踊に魅了され、夢の世界に引き込まれた時間となつたようでした。

レス大東で開催しました。

両日あわせて一六〇名の参加者

で、会場いっぱいに再会を喜び交流の輪が広がりました。



千厩支部

和やか「千厩サロン祭り」

「千厩サロン祭り」が勤労福祉センターを会場に十月二十三日開催しました。



来賓の皆さん、会場の皆さんとの大合唱で幕が開き、「学びの時間」では、「振り込め詐欺に注意」（千厩警察署）、「忘れた人に優しく」（宅老所せんまや二号館）…忘れた一座、「交通安全こんなあります？」（交通指導隊）、「ちょっと一息リフレッシュ」（保健福祉課）等、次々に講話・寸劇・健康運動などがステージで展開され、高齢者が安心・安全で生活するためのメッセージが伝えられました。その後は各サロンから、歌や踊り寸劇、体操など日頃のサロンでの取組みの成果がステージ狭しと多彩に発表され、会場は、笑いや出演者と一緒に口ずさむ光景などが見られ和やかな一時が流れていきました。

お楽しみ演芸会では、人形劇サークル「つくしんば」による昔話や人形劇を観賞。続いて、げいび幼稚園や長坂保育園児の歌や遊戯を楽しむとともに中央婦人学級生二十二人が料理教室で腕を振る、楽しい昼食交流会を行いました。

千厩地域では四十七サロンが活動をしており、ホールでは活動状況、成果の展示と販売もおこなわれ館内はサロン一色の様を呈し、「食改千厩支部」や「ひまつぶ詩カフェ」の参加と合わせ、賑々しく交流が深まつた一日となりました。

東山支部

「みんなつしょの食事は楽しいね」

「ひとり暮らし高齢者の集い」

十一月十三日（木）東山



地域交流センターで、東山公民館の中央婦人学級と合同で「ひとり暮らし高齢者の集い」を開催しました。

集いには、

民生委員さんを通して参加申し込みのあつた三十人が出席し、げいび幼稚園や長坂保育園児の歌や遊戯を楽しむとともに中央婦人学級生二十二人が料理教室で腕を振る、楽しい昼食交流会を行いました。

出店部門では、七つのブースを設け、地元特産物等の展示販売を行い、開店もなく完売となるなど盛況でした。

記念講話では、東北福祉大学の都築光一教授を講師に迎え「心豊かに暮らせる地域づくり」と題し、住みよい地域づくりは、「地域の輪・人の輪・前向きな気

千厩地域では四十七サロンが活動をしており、ホールでは活動状況、成果の展示と販売もおこなわれ館内はサロン一色の様を呈し、「食改千厩支部」や「ひまつぶ詩カフェ」の参加と合わせ、賑々しく交流が深まつた一日となりました。

居「平泉武士道」を上演していただきました。お昼時間には、中央婦人学級生のみさんと懇談しながら、手づくり料理を楽しくいただきました。

室根支部

「出会い・ふれあい・笑顔いっぱい」

「むろね社協ふくし交流まつり」

十月五日（日）「第二回むろね社協ふくし交流まつり」を、室根保健センターを会場に開催。「地域の交流の場」として住民や企業、各種団体、ボランティアなどが約三百人集まり大きな地域イベントとなりました。

福祉まつりは、ふれあいイベント、各種作品展示、出店コーナー、キッズコーナーの四部構成で、ふれあいイベントは、折壁保育園の元気満点のマーチング、ふくし標語・川柳コンクール表彰、記念講話、舞踊マジックショーが行われました。

ふくし標語は、町内小学校の児童会員を中心に九十分の応募がありました。また、展示部門では老人クラブ会員やふれあいサロン会員の作品合せて二百四十六点の自慢の作品（手工芸品等）が集まりました。

出店部門では、七つのブースを設け、地元特産物等の展示販売を行い、開店もなく完売となるなど盛況でした。

記念講話では、東北福祉大学の都築光一教授を講師に迎え「心豊かに暮らせる地域づくり」と題し、住みよい地域づくりは、「地域の輪・人の輪・前向きな気

持ち」によるパ

ワーが最も必要であり、そのパワーを持続して後世につなげていくことが大切と話され、先生の熱演に多くの感銘を受けました。

当日は、室根赤十字奉仕団の炊き出し訓練も行われ、来場した皆さんに非常食（ライスカレー）の試食体験をしてもらいました。

午前九時三十分から午後一時までのあつと、う間でしたが、保育園児から老人クラブ等高齢者の方々までの世代間の地域交流が図られ、地域の良さと楽しさを実感する有意義な一日となりました。

川崎支部

スマホにシニアが挑戦 講座開催

一関市老人クラブ連合会川崎支部と一関市シニア活動プラザが共催で、十月二十三日にシニアのスマホ講座を開催しました。



川崎地域のシニアの方を対象とした講座に十五名が参加しました。

ドコモショップ一関東店の沖 裕介氏を講師に、電話帳に登録することから始め、二人ペアになり通話をお互いに「通じたねえ……」と初めてのスマホを体験しました。

プレス、ピンチ、フリックなど聞きなれない言葉にも、指導を受けながらタッチパネルに触れ、キーボードを使ってメールの作成にも挑戦し「きたきた」と送信し合いました。カメラを使って大橋付近の風景を撮影「きれいきれい」の連発、地図アプリを使って、行きたい所などを検索と悪戦苦闘しながらも、使いこなせば「すごい」などと歓声をあげて、防犯ブザーや話しかけアプリなど充実した機能の紹介もあり、楽しく時間が経過しました。



藤沢支部 十四組のカップルを祝福

「金婚を祝う会」

十一月二十日に開催した「第十八回藤沢町金婚を祝う会」には、今年金婚を迎えた夫妻三十組のうち十四組が参加

し、一関市長（藤沢支所長代理出席）、藤沢地域福祉団体の長、同地

域選出市議会議員、民生児童委員、福祉委員（行政区長）、社会福祉協議会理事など五十二人が出席して金婚カップルを祝いました。

挨拶に立った佐々木宏朋理事は、「今日の発展は、皆さん努力の成果です。これからも健康で夫婦そろって活躍をお願いします」と述べました。

続いて、記念品として社会福祉協議会から、当日撮影した夫妻の写真と集合写真をアルバムにしたものの目録と、紅白のおしどり餅を贈りました。来賓から祝辞をいただいたあと、当祝者を代表して挨拶をした千葉登代志さん・丈子さん夫妻（西口字東小戸沢）は、「五十年を振り返ると大変な時代もありました。皆さんと歩んできたことに感謝します。これからもよろしくお願ひします。」と喜びの言葉を述べました。

乾杯のあとは祝謡祝舞と続き、「花沢会」の皆さんによる踊り、参加された方々によるお祝いの歌などで楽しみながら懇親を深め、終始和やかな雰囲気の中、金婚を迎えた方々を祝福しました。



室根町矢越地区の「サロンござっしゃいの会」は、会長の畠山充子さんを中心十五名で室根第十五地区会館を拠点に活動しています。

平成二十年に発会以来、いろんなメニューにチャレンジしておりますが、会員が特に楽しみにしているのが、お料理教室と手芸品づくりです。お料理教室は、恵方巻きやこそ味噌焼きづくり、そば打ち体験など料理のジャンルも広く、作る楽しさといただく喜びを、気のあう仲間で謳歌しております。

手工芸につきましては、バツチワークから始まり、ふろしきエコバック、軍手の猫ちゃん、焼魚など様々な作品づくりをしております。



サロンござっしゃいの会

地域活動団体紹介

会場での作品への声を聞いてさらに次の作品への創作意欲が湧いている皆さんでした。

赤い羽根共同募金による助成事業助成団体紹介

◎「平成26年度共同募金による平成27年度施設整備費」

- ・一般社団法人やさいサラダ 車両整備(送迎用) 860,000円

赤い羽根災害ボランティア・NPO活動サポート募金 助成事業「住民支え合い活動助成」

- ・ひまつぶ詩カフェ(千厩地域) 100,000円
- ・関が丘第二雇用促進自治会(一関地域) 100,000円
- ・手芸サークルなでしこ(一関地域) 100,000円
- ・興田地区福祉活動推進協議会(大東地域) 100,000円

◎赤い羽根災害ボランティア・NPO活動サポート募金助成事業「住民支え合い活動助成」は東日本大震災による被災者支援のために、つながりやネットワークの強化、被災地域のコミュニティ再興に取り組む住民団体やボランティアグループ、NPO法人等(住民5人以上で構成されている非営利団体)への活動支援を行う助成金です。

第9回12月19日、第10回1月20日、第11回2月20日、締切で助成金の申請を受け付けております。助成申請に関する要綱、様式等は、本会のホームページまたは、岩手県共同募金会のホームページ(<http://www.akaihane-iwate.or.jp>)をご覧頂くか、社会福祉協議会各支部にお問い合わせ願います。

活支援相談員を設置し、東日本大震災で被災し避難をされているご家庭の訪問、沿岸避難者等の交流事業としての「ふるさとお茶っこ交流会」を開催し、交流の場づくりを行っております。
「寄り添い、一緒に歩いて行こう」を行動目標に、二名の生活支援相談員が被災者相談支援を行つております。お気軽にお声掛け下さい。

・問合せ先：二三一六〇二〇
・相談時間：午前九時～午後五時
(土・日・祝日はお休みです)
生活支援相談員 平野・菊地

支えあい幸せ感じる地域の暮らし

生活支援相談員のご案内



一関市社会福祉
協議会では、平成
二十四年度から生

在宅介護者の集い



在宅で介護をされている方を対象にした「在宅介護者の集い」を十一月十六日（日）・十七日（月）宮城県鳴子町「四季の宿ますや」で開催しました。この事業は、介護者を対象に、日頃の介護の疲れを癒し、心身ともにリフレッシュしてもらうことを目的に開催しています。今回は二十三名が参加、交流を深めました。

開会後には、口の中を清潔に保つ手入れの仕方、入れ歯の取り扱いについてユーモアを交えながら「口腔ケア」についてのお話を聞きました。その後、自由にお話ししていくだけ時間にしましたが、参加者からは「主催者で設定したプログラムもいいが、今回のように自由に話す時間があつたほうが良い」とのお話も頂きました。その後の入浴や会食懇親を通じてさらに交流を深めました。



来年二月には、日帰りの在宅介護者の集いを予定しております。たくさんの方に参加していただき、リフレッシュいただきたいと考えております。

ようです。

心配ごと相談所

心配ごと相談所は、皆さんの身近な心配ごと悩みごとの相談に対して住民の立場に立って問題解決の協力・援助を行います。個人情報の保護に留意するため専任の相談員が対応いたしますので、お気軽にご相談ください。なお、相談料は無料です。



心配ごと相談所開設日

通常相談

日時：毎週木曜日 午前10時から午後3時

場所：一関市総合福祉センター(0191-23-6020)

移動相談 (移動相談は事前予約が必要です。)

日時：毎月第2金曜日 午前10時から午後3時

場所：花泉総合福祉センター (予約先：社協花泉支部 0191-82-4002)

大東保健センター (予約先：社協大東支部 0191-71-1177)

千厩農村勤労福祉センター (予約先：社協千厩支部 0191-53-2885)

社協藤沢支部相談室 (予約先：社協藤沢支部 0191-63-5122)

まごころ寄附

平成26年9月から平成26年10月末までに、市民の皆様からご寄附がありました。

本 部

一関市 松風花道会岩手支部様 66,364円

一関支部

関が丘 斎藤 けい子様 100,000円

三関字日照 金田 テル子様 100,000円

滝沢字一ノ沢 菅原 孝様 中古電子ピアノ

花泉支部

花泉字メノ木 曽部 寿一様 50,000円

花泉字鍛治屋 千葉 利雄様 100,000円

油島治日向平 武田 正吉様 100,000円

涌津字向川 大嶋 朝香様 タオル 4枚
ハンドタオル 4枚
バスタオル 2枚

花泉字郷ノ里 後藤 順子様 100,000円

匿名 9,500円

大東支部

渋民字和田沢 小山 二雄様 50,000円

大原字川内 伊東 俊一様 50,000円

鳥海字西小森 佐藤 喜明様 13,800円

摺沢字源八 菊池 重志様 100,000円

大東町 興田中学校生徒会様 歩行車1台

摺沢字小沼 三浦 豊様 50,000円

摺沢字新右エ門土手 加藤 二朗様 50,000円

渋民字小林 菊池 元様 50,000円

猿沢字大久保 菅原 幸悦様 30,000円

大東町 大東芸術文化協会摺沢支部
支部長 小原 松一様 50,000円

摺沢字摺沢駅 小原 雪男様 100,000円

猿沢字板倉 小山 勝広様 100,000円

大東町 興田ダンスサークルスイトピー
代表 佐藤 秀子様 5,000円

大東町

一関市ゲートボール協会大東支部

支部長 及川 忠之様 36,431円

渋民字和田沢

小崎 春夫様 30,000円

匿名 紙袋等 22枚

香料袋等 15枚

千厩支部

清田字鳥喰

千葉 一夫様 100,000円

千厩字宮田

佐藤 守様 布袋竹手作り杖
20本

千厩字北ノ沢

佐藤 公一様 50,000円

千厩字北方

三浦 利夫様 30,000円

東山支部

長坂字東本町

小原 結衣菜様 4,200円

松川字中通

小野 修司様 100,000円

田河津字石ノ森

渡邊 英治様 50,000円

室根支部

折壁字大里

村上 洋一様 100,000円

津谷川字竹野下

熊谷 賢治様 100,000円

津谷川字下千代ヶ原

菅原 茂幸様 50,000円

匿名 5,000円

川崎支部

薄衣字柄木

菅原 清一様 50,000円

藤沢支部

黄海字京堂

千葉 フミ子様 50,000円

砂子田字野々田

伊藤 勇様 100,000円

黄海

黄海地区老人クラブ連合会

会長 千葉 忠雄様 20,000円

まごころ寄附の使いみち

皆様から頂いた、まごころ寄附は、「小地域福祉推進事業（地区福祉活動推進協議会等への助成）」「ふれあいサロンへの助成」「ボランティア事業」など地域福祉を推進するための貴重な財源となっております。

9月～12月 心配ごと相談所・10月～11月 一人暮らし高齢者の集い事業・12月 社協だよりの発行 の事業費の一部に使われます。

ホームページに関する
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ
<http://www.ichinoseki-shakyo.com/> E-mail : info@ichinoseki-shakyo.com